

教育研究評議会議事要録

日 時 平成18年 9月12日(火) 13:30~15:15

場 所 事務局大会議室

出席評議員 遠藤(学長・議長), 須藤, 加藤, 三浦, 石堂, 四宮, 佐藤(三), 齋藤, 佐藤(敬), 中路, 對馬, 木田, 南條, 宮田, 荒川, 保嶋, 丹野, 矢島, 正村, 内山, 佐々木(大), 真下, 吉田, 市川, 諏訪田の各評議員

役員等陪席者 藁科理事, 安倍監事

監査室陪席者 平岡室長

事務局陪席者 渡邊総務部長, 三浦総務課長, 藤原入試課長他

配付資料

- 資料1 (事前配付) 弘前大学における講座に関する規程新旧対照表(案)
- 資料2-1 (当日配布) 弘前大学連携大学院教育に関する規程(案)(修正事項)
- 資料2-2 (当日配布) 弘前大学客員教授等選考規程新旧対照表(案)(修正事項)
- 資料3 (事前配付) トンプソン・リバーズ大学との大学間交流協定(案)
- 資料4 (事前配付) 弘前大学と弘前市の連携に関する協定書(案)
- 資料5 (当日配付) (様式1)
- 資料6 (当日配付) 科学技術支援機構(JST)シーズ発掘試験の採択結果
- 資料7 (当日配付) 平成18年度弘前大学学長指定重点研究配分決定一覧
- 資料8 (当日配付) 教員の免許状授与の所要資格を得させるための課程認定申請について
- 資料9 (当日配付) 見てみて 聞いてみて 触ってみて 弘前大学
- 資料10 (当日配付) 21世紀教育センター運営委員会議事要旨
- 資料11 (当日配付) 教育・学生委員会(第27回)議事要録(案)
- 資料12 (当日配付) 研究・産学連携委員会議事要旨(案)
- 資料13 (当日配付) 社会連携委員会議事要旨(案)

◎ 議事に先立ち学長から, 7月18日開催の教育研究評議会の議事要録(案)の確認が行われ, 承認された。

審議事項

審議1 弘前大学における講座に関する規程の一部改正について

渡邊総務部長から, 資料1に基づき, 医学部医学科の寄生虫学講座の機能を細菌学講座に発展的に移行・統合し, 新たに感染生体防御学講座とする改正理由及び改正内容等について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり了承され, 役員会に提案することとした。

審議2-1 弘前大学連携大学院教育に関する規程の制定について, 並びに, 審議2-2 弘前大学客員教授等選考規程の一部改正について

渡邊総務部長から, 資料2-1に基づき, 連携大学院教育に関する規程の制定理由及び改正内容等について説明があり, 引き続き, 資料2-2に基づき, 客員教授等選考規程の改正理由及び改正内容等について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり了承され, 役員会に提案することとした。

審議3 トンプソン・リバーズ大学（カナダ）との大学間交流協定の締結について

須藤理事から、資料3に基づき、交流協定の締結については7月28日開催の留学生センター運営委員会です承されていること、並びに今回の交流協定の特徴として、トンプソン・リバーズ大学には日本語教育プロジェクトがあり相互に留学生の交換の可能性が高いこと、また語学センターがあり授業料が無料となっているので、弘前大学からの留学生が無料で授業を受けられること、及び協定締結期間が従来は5年であったが今回は3年としたことである旨説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会に提案することとした。

審議4 弘前大学と弘前市の連携に関する包括協定について

三浦理事から、資料4に基づき、包括協定の目的、協力事項、有効期間等について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会に提案することとした。

また、9月19日シティ弘前ホテルで午後2時から行われる調印式への出席要請、並びに協定締結後に弘前大学と弘前市が連携して実施する共同事業についての協力依頼があった。

審議5 弘前大学創立60周年記念事業について（追加事項）

学長から、弘前大学が平成21年5月31日に創立60周年を迎えるに当たって、弘前大学同窓会からの申し入れもあり、記念事業の実施について提案があった。

また藁科理事から次のとおり補足説明があった。

9月6日創立60周年記念事業の実施について同窓会と懇談した際、大学が記念事業を実施するのであれば同窓会は全面的に支援するので、まず実施の有無について大学の意思を決定するよう申し入れがあった。その後9月11日の役員会で審議し了承を得たが、教育研究評議会と経営協議会の了承を得た後、学内組織を立ち上げる等の手続きをすることになる。

記念事業実施の趣旨は、60年は人でいうと還暦という大きな節目であり、また平成21年は第1期中期目標・中期計画の最終年度で総括の年としての大きな節目に当たる。

以上の説明の後、審議の結果、創立60周年記念事業の実施は、学長提案のとおり了承された。

報告事項

報告1 教員人事について

(1) 教員の採用・昇任

石堂人文学部長、佐藤教育学部長、佐藤医学部長、保嶋副病院長、荒川評議員から、資料5に基づき、下記職員の採用及び昇任について報告があった。

人文学部 足立 孝 (同学部講師) 助教授昇任 (18.10.1付け)

鈴木 淳 (首都大学助教授) 助教授採用 (18.10.1付け)

教育学部 戸塚 学 (同学部助教授) 教授昇任 (18.10.1付け)

医学部 胡 東良 (同学部講師) 助教授昇任 (18.8.1付け)

医学部附属病院 早狩 誠 (医学部助教授) 教授昇任 (18.8.1付け)

農学生命科学部 千田峯生 (遺伝子実験施設 助手) 助教授昇任

(18.9.1付け)

報告2 オープンキャンパスについて

須藤理事から、8月8日(火)に開催され約3,700名の参加者があり、昨年に比べ約700名の増であったことの報告があり、教職員及び学生等の協力に対し謝辞があった。

報告3 入試説明会について

須藤理事から、夏休み期間中に八戸、下北及び青森市で開催し、8月16日の八戸会場（ユートリー）には三本木高校の43名を含む70名、下北会場（田名部高校）には田名部高校の100名を含む参加者があったこと、しかし、8月29日には青森会場（アスパム）で開催したが、既に授業が始まった平日の火曜日開催のためか高校生の参加が少なかった旨の報告があった。

報告4 弘前大学マッチング研究支援事業「弘大GOGOファンド」の交付決定について

加藤理事から、県内企業「ミリオン株式会社」と農学生命科学部の片方教授の共同研究「リンゴ鹿角霊芝由来高アレルギー作用の生化学的及び臨床医学的解析」に400万円交付することが決定された旨報告があった。

報告5 科学技術支援機構（JST）シーズ発掘試験の採択結果について

加藤理事から、資料6に基づき、全国で5,621件応募があり1,008件採択され採択率は約18%、本学からは36件申請し採択9件で採択率25%であること、また各研究課題への助成金は200万円のうち間接経費は10%である旨報告があった。

報告6 平成18年度学長指定重点研究の審査結果について

加藤理事から、資料7に基づき、6月19日から30日まで募集し、申請件数35件、内訳は、人文系10件・ライフサイエンス系25件、新規20件・継続15件であったこと、書類審査及びヒアリングの結果、15件を採択した旨報告があった。

今年度は、新たに、各研究課題について12月頃をめどに進捗状況を確認し、必要に応じて研究費を追加配分する予定である旨説明があった。

報告7 弘前大学シニアサマーカレッジについて

三浦理事から、大学とJTBの共催で8月28日から9月10日までの2週間にわたって行われ、県内の3人を含む32名が受講し無事終了したことの報告と、講師を務めた教員に対し謝辞があった。

報告8 教員の免許状授与の所要資格を得させるための課程認定申請について

對馬保健学科長から、資料8に基づいて、平成19年4月に予定されている大学院の組織の改編に伴い、再申請するものである旨報告があった。

報告9 「見てみて、聞いてみて、触ってみて 弘前大学」の開催について

内山 地域共同研究センター長事務取扱から、資料9に基づき、9月19日13時からシティ弘前ホテルで開催すること、及び当日弘前市との包括協定の調印も行われる旨報告があり、大学研究紹介パネル展示に対する教員の協力に対し謝辞があり、また来場依頼があった。

追加して、須藤理事から、国連大学グローバルセミナー第5回東北セッションについて、学生52名（本学学生12名を含む。）が参加して9月10日(日)から13日(水)まで本学を主会場に開催されている旨報告があった。

報告10 委員会報告

(1) 21世紀教育センター運営委員会

矢島センター長から、資料10に基づき、7月20日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

ア 北東北国立3大学単位互換制度等の履修希望者数について

イ 平成18年度FDシンポジウムについて

- ウ 平成18年度前期末・後期開始時期の日程について
- エ 平成18年度後期授業時間割について
- オ 平成19年度開講計画について

(2) 教育・学生委員会

須藤理事から、資料11に基づき、7月26日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

- ア ICチップを施した学生証による授業の出欠確認等の可能性について
- イ 成績評価標語「秀」について
- ウ トレーニング機器の受け入れについて
- エ 弘前大学インターンシップの受入数について

(3) 研究・産学連携委員会

加藤理事から、資料12に基づき、7月13日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

- ア 弘前大学学術研究推進戦略(案)について
- イ 弘前大学研究者倫理規範について

(4) 社会連携委員会

三浦理事から、資料13に基づき、7月25日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

- ア 弘前大学と青森県との包括協定について
11月中、遅くとも年内を目途に協定締結の作業を進めていく旨説明があった。

報告11 その他

(1) 暫定評価について

藁科理事から、暫定評価について次のとおり説明と協力要請があった。

暫定評価によって第2期の資源配分が行われることになると予想されるので、暫定評価は非常に重要なものと考えられる。

20年度に実施される暫定評価に向けて19年度から準備する必要があり、そのための準備を今から始める必要がある。

その準備のため、中期計画の事項がどの程度進捗しているかを確認する必要があるため、16年度からの実績報告をあらためて整理し、運営会議で学部長等に提示したのでご協力をお願いします。

暫定評価の課題としては、中期計画の全ての事項を「概ね順調」以上で達成すること、及び第1期期間中に計画事項の業務がまだ途中であっても、最終年度に達成されるように、見通しを暫定評価の業務実績に明確に記載すること、更に、弘前大学として、または各学部がそれぞれ特徴ある教育・研究に取り組み、達成見通しを記述することが重要である。

今後のスケジュールとしては、運営会議で配布した教育部分については、再度各理事が精査して提示する、その後、同様の整理をして研究に関する部分等順次各学部提示していく。

(2) 次回以降の開催予定日について

次のとおり開催することとした。

平成18年10月10日(火) 13:30～

平成18年11月14日(火) 13:30～

以上